

【6月14日：緊急プロジェクト成果報告会】 ウィズコロナ時代、学びをどう保障するか？

そのとき学びに何が起こったか？ —研究代表者より趣旨説明—

中原 淳（立教大学教授）



NAKAHARA-LAB.net

立教大学 経営学部 中原淳研究室

※この資料の「引用」は下記の引用表示をお願いします。

中原淳(2020)「立教大学経営学部中原淳研究室 そのとき学びに何が起こったか :高校生の学習時間に焦点をあてて—新型コロナ感染拡大による学習環境の変化に関する調査報告会. 趣旨説明」http://www.nakahara-lab.net/blog/wp-content/uploads/2020/06/nakahara_goaisatsu-1.pdf

中原 淳 (なかはら・じゅん)

・ 立教大学教授, 博士

- ・ 立教大学リーダーシップ研究所・副所長
- ・ 立教大学大学院リーダーシップ開発コース主査

・ 研究テーマ：

- ・ 人材開発、組織開発
- ・ ひとづくり・組織づくりの研究者

・ 企業人事の皆さんとの最近のプロジェクト

- 博報堂、Yahoo、電通、ソフトバンク
オリエンタルランド、ヤマト運輸、博報堂
三井住友銀行、JR東日本

・ コロナ禍にあって・・・

- 自分にできることは何かを考えて
「オンライン授業推進」などの社会貢献活動を行っています



お越しいただきありがとうございました！
今日の成果報告させていただくのは共同研究

中原研究室

・ 田中 智輝 (たなか・ともき)

- ・ 立教大学経営学部 助教
- ・ ヒアリング調査担当
- ・ 教育哲学、シティズンシップ教育



・ 高崎 美佐 (たかさき・みさ)

- ・ 立教大学経営学部 教育研究コーディネーター
- ・ 質問紙調査担当
- ・ 高校・大学・社会の接続、キャリア形成



・ 村松 灯 (むらまつ・とも)

- ・ 立教大学経営学部 教育研究コーディネーター
- ・ ヒアリング調査担当
- ・ 教育哲学、教育思想



さて・・・今日の目的は・・・

本日の目的

このコロナ禍で

- ①学びがとまったとき(臨時休校)
- ②子どもに、保護者に、教員に、教育支援者に
- ③何がおこったのかを把握する

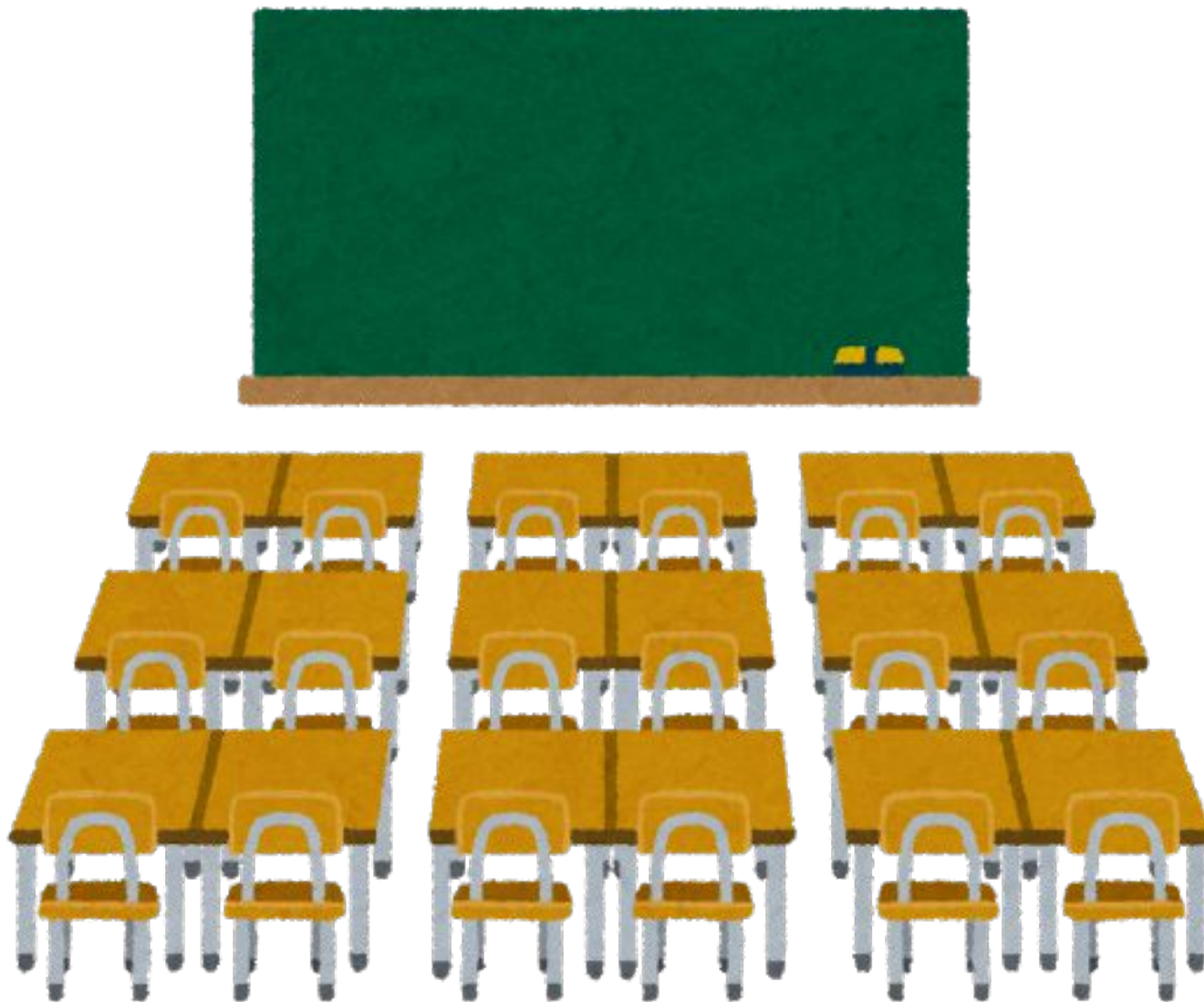
- ・大規模な質問紙調査(3000人弱)
- ・定性調査(ヒアリング)

それを行うことによって2つの「真の目的」が
達成可能になる



コロナ関連の動向を振り返ると・・・

- 2/27 安倍総理、一斉休校要請
- 2/28 文科省、各学校に一斉休校（3/2～）の通達
- 3/11 WHO「パンデミック」宣言
- 4/1 東京都、都立学校の休校を5/6まで延長
- 4/7 安倍総理、1都7県を対象とする緊急事態宣言を発令
- 4/9 東京都、都立学校の休校を緊急事態宣言の解除まで延長
- 4/16 安倍総理、緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大
→ 全国で5/31まで休校を延長する動き
- 4/28 文科大臣「9月入学、確かにメリットある」と発言
→ 政府で具体的な検討作業が始まる
- 5/14 安倍総理、39県で緊急事態宣言を解除
- 5/21 京都・大阪・兵庫で緊急事態宣言を解除
- 5/25 緊急事態宣言を全面解除



実際・・・あのとき、学校が止まった(5月11日:86%が休校)

真の目的①

- ① 学びがとまったとき
- ② 子どもに、保護者に、教員に、教育支援者に
- ③ 何がおこったのかを把握する

- ・ 大規模な質問紙調査（3000人弱）
- ・ 定性調査（ヒアリング）

↓（そのことで）

学校が暗に社会に「提供」していたものの本質が
「見える化」する＝学校の「諸機能」がわかる

通常、わたしたちは・・・



学校＝授業を提供している

↓（だからこそ）

いわゆる「学びをとめない」
＝オンライン授業をすること

わたしたちは、そう考えていない

学校とは、たくさんの「機能」がある

① 健康保障機能

- ・ 子どもの生活リズムをつくること
- ・ 心の変化に気付くこと

② つながり保障機能

- ・ 子ども同士のつながりをもつこと
- ・ 教師から「見守られている感覚」をもたせること

③ 学び保障機能

- ・ 継続的な授業・学習をうながすこと

学校が「とまった」とき、子どもに、親に
どんな変化が起こったのかを見ていけば
学校が「提供していた暗黙の機能」がわかる

わたしたちは思う・・・



敵は、また来る

そして、そのとき重要なのは「学びを再びとめない」
その含意は・・・

「学びをとめない」とは・・・

① 学びを中核にしながらも・・・

② オンライン「も」オフライン「も」問わず
あらゆる手を使い

③ 学校が提供していた機能を復活させること

④ 子ども・保護者を支えること

それが具体的に「何か」を見ていくことが必要
今は第二波・第三波がくるまえの「つかの間の猶予時間」・・・

真の目的②

学びを「再び」とめない

- ① 学校が提供している機能が何かを見定め
- ② オンライン「も」オフライン「も」活用して
- ③ どのように守っていくかを考える

第二波・第三波が来る前の
「作戦会議」をしませんか？



CONTENTS

□ オープニング

□ 第1部 調査報告

——データから見た「そのとき」 休校中の学習と生活

立教大学 田中智輝・高崎美佐・村松灯

□ 第2部 対談

——対話がつむぐ「そのとき」と「これから」

立教大学
認定NPO法人カタリバ
都立日野台高等学校
N高等学校

中原淳
今村久美・加賀大資
佐々木宏
片野優

□ クロージング



CONTENTS

数字

□ オープニング

□ 第1部 調査報告

——データから見た「そのとき」
休校中の学習と生活

立教大学 田中智輝・高崎美佐・村松灯

□ 第2部 対談

——対話がつむぐ「そのとき」と「これから」

立教大学
認定NPO法人カタリバ
都立日野台高等学校
N高等学校

中原淳
今村久美・加賀大資
佐々木宏
片野優

対話

どうぞお楽しみくださいませ

